

# 決算状況

## 一般会計

**総括** 令和6年度勝山市一般会計決算は、歳入が173億4,744万円、歳出が167億824万円となり、歳入で11.3%の増(前年度比=以下同じ)、歳出で15.5%の増となりました。なお歳入歳出の差引きのうち翌年度へ繰り越さなければならない財源1億2,900万円を引いた5億1,020万円が実質的な黒字となっています。

**歳入** 国から交付される地方交付税は、国の補正予算編成に伴い、経済対策の事業などを円滑に実施することとして臨時経済対策費の臨時費目が創設されたことなどにより普通交付税が増額となったほか、特別交付税においても平年を大幅に上回る降雪により市道などの除排雪に要する経費が増額で算定されたことなどによる結果、8.3%増の50億4,812万円となりました。

その他には、大雨により被災した農地、林道、道路河川の早期復旧に向け着手してきたことにより県支出金が増額、ビュークリーンおくえつの基幹的設備改良工事や新中学校建設に伴う地下横断歩道整備工事などにより市債も増額となりました。

**歳出** 衛生費においてビュークリーンおくえつの基幹的設備改良工事に係る大野・勝山地区広域行政事務組合への負担金が増額となったことなどにより80.3%増の17億5,113万円となりました。

土木費は、平年を上回る降雪があったことで市道などの除排雪経費が増額となったことなどにより37.0%増の19億5,303万円となりました。

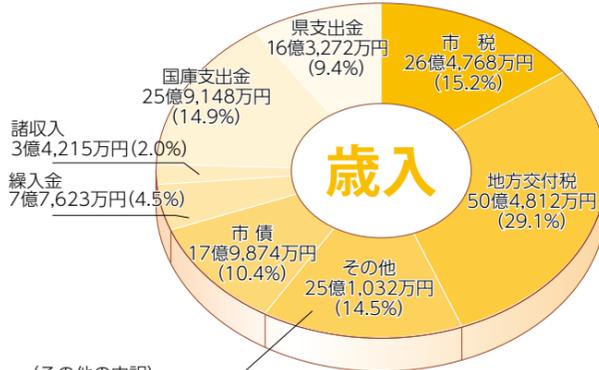
総務費は、家庭用照明のLED化に係る助成事業を実施したことなどにより25.1%増の38億8,994万円となりました。

令和6年度の財政調整基金残高は、令和6年度当初予算編成において生じた所要一般財源の不足に対応するため7億2,515万円を取り崩しましたが、地方財政法などの規定に基づき積み立てを行ったこと、補正予算編成過程で生じた財源を積み立てる事ができた結果、前年度末から6億9,777万円増加し、総額19億5,673万円となりました。

一般会計の市債残高は、新規発行額が17億9,874万円、元金償還額が11億4,175万円となり、これらの差引額6億5,699万円が前年度から増加となり127億4,057万円となっています。

市では年2回、市の財政状況を公表しています。今回は、令和6年度の一般会計・特別会計の決算状況をお知らせします。

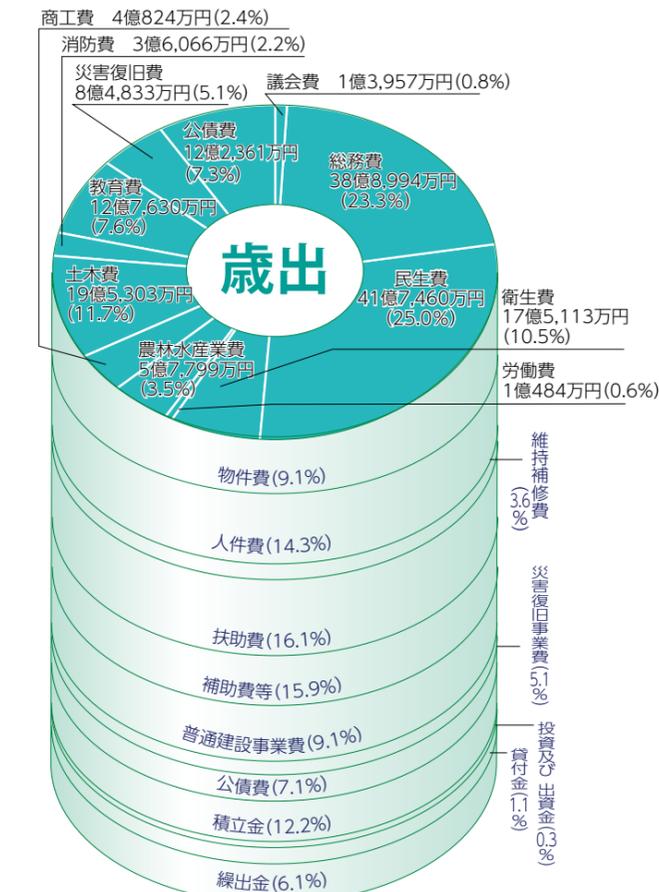
**歳入総額 173億4,744万円**



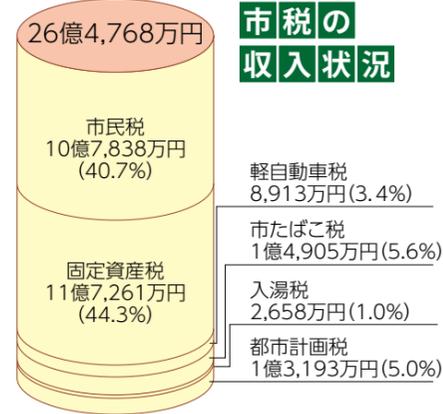
(その他の内訳)

繰越金	11億1,716万円	環境性能割交付金	2,092万円
分担金及び負担金	1,095万円	利子割交付金	115万円
地方消費税交付金	5億8,252万円	配当割交付金	2,432万円
地方譲与税	1億7,045万円	株式等譲渡所得割交付金	3,238万円
使用料及び手数料	1億5,062万円	財産収入	2,713万円
地方特例交付金	1億1,192万円	交通安全対策特別交付金	189万円
法人事業税交付金	7,077万円	寄附金	1億8,814万円

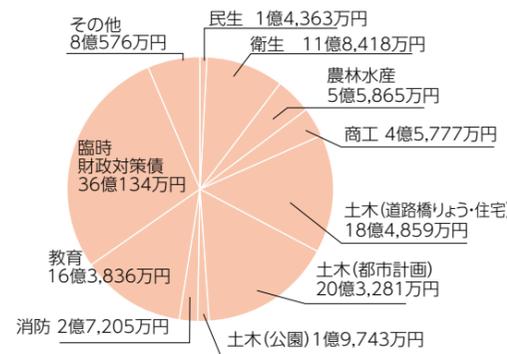
**歳出総額 167億824万円**



## 市税の収入状況



## 一般会計 合計127億4,057万円 目的別市債残高



## 指標でみる財政事情

R6年度	経常収支比率		財政力指数	
	勝山市(速報値)	90.1%	勝山市	0.43
	県内9市平均(速報値)	94.7%	県内9市平均	0.60
R5年度	勝山市	92.5%	勝山市	0.42
	県内9市平均	94.3%	県内9市平均	0.61
	全国平均	92.6%	全国平均	0.61

## 特別会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引き
育英資金	3,046万円	3,046万円	0万円
国民健康保険	21億8,924万円	21億8,883万円	41万円
後期高齢者医療	4億2,244万円	4億2,229万円	15万円
介護保険(保険事業勘定)	29億3,328万円	29億3,325万円	3万円
介護保険(介護サービス事業勘定)	996万円	996万円	0万円
市有林造成事業	5,222万円	5,222万円	0万円

## 市有財産の状況

(令和7年3月31日現在)

建物	13万7,757㎡
土地	2,312万4,495㎡
立木	31万855㎡
基金	
現金・預金等	66億8,802万円
うち財政調整基金	19億5,673万円
うちその他の基金	47億3,129万円
土地	2,951㎡
有価証券	3億2,420万円
出資金	2億6,590万円
債権	1億4,338万円

## 市債残高の状況

一般会計	127億4,057万円
特別会計	
下水道事業	46億149万円
農業集落排水事業	9億7,265万円
市有林造成事業	4,080万円
合計	183億5,551万円

## 財政健全化判断比率

R6年度	経常収支比率		財政力指数	
	勝山市(速報値)	90.1%	勝山市	0.43
	県内9市平均(速報値)	94.7%	県内9市平均	0.60
R5年度	勝山市	92.5%	勝山市	0.42
	県内9市平均	94.3%	県内9市平均	0.61
	全国平均	92.6%	全国平均	0.61

### \*用語解説

**【経常収支比率】** 財政構造の弾力性(余裕)をあらわしたものの。毎年経常的に収入される財源のうち、人件費・扶助費・公債費など、必ず支払う経費の割合。

1か月の家計に例えると、食費や家賃、光熱費、水道代、ローン返済など毎月決まって支払わなければならない経費の合計が、給料総額に対してどの程度占めるかをあらわしたものです。

**【財政力指数】** 地方公共団体の財政力をあらわしたものの。

一般の家庭に例えると、別居している子どもの、標準的な生活費(家賃や食費など)に対する標準的な収入(給料など)の割合です。なお、標準的な生活費と標準的な収入の差額で不足が生じると親からの仕送り(普通交付税)が必要となります。

**【実質赤字比率】** 一般会計などの実質赤字が標準財政規模(地方公共団体が自由に使える財源の標準的な収入)に占める割合。

サラリーマン家庭に例えると、一年間の収入と支出の差

引において赤字が生じた場合、赤字額がその年の家庭の給料総額に対してどの程度占めるかをあらわしたものです。

**【連結実質赤字比率】** 全会計(一般会計などだけでなく、その他の特別会計を含む)の実質赤字が標準財政規模に占める割合。

**【実質公債費比率】** 一般会計などが負担する市債などの償還金が標準財政規模に占める割合。

別居している子どもを持つ家庭に例えると、親のローンのほか、親が肩代わりして子どものローンを返済している場合、その返済金の合計が、親の給料総額に対してどの程度占めるかをあらわしたものです。

**【将来負担比率】** 一般会計などが将来負担すべき債務が標準財政規模に占める割合。

別居している子どもを持つ家庭に例えると、親のローンの残高、子どものローンの残高(親が肩代わりして返済する額)、家族の将来の冠婚葬祭などに係る経費の総額から、それに充てることのできる財源(貯金など)を差し引いた額が、その年の給料総額に対してどの程度占めるかをあらわしたものです。